

第52回中国地区学校保健研究協議大会報告書

会長 西村 正広

日時：平成18年8月17日（木）13時から18日（金）12時まで
場所：鳥取県立生涯学習センター 県民ふれあい会館 ウエルシティ鳥取
特別講演

「子どもの生活習慣病と学校の役割」鳥取県立中央病院 武田 倬先生

演者は、長年、日本糖尿病学会の評議員を勤められ、小児糖尿病大山サマーキャンプの中心的な先生である。このキャンプには山口県からも多くの小児が参加している。

近年小児肥満が増加し、Ⅱ型小児糖尿病が増加傾向にある。小児を健康的に育てるといことは、医療費削減の面からも大切で、小児のメタボリックシンドロームの診断基準（案）も研究レベルで使用されているそうである。

生活習慣病予防対策では、食生活・運動・危険因子のスクリーニング・健康教育が大切である。健康教育は子供と親にする必要があるようだ。

職域部会 学校薬剤師部会

各県の薬物乱用防止対策の取組みについて協議された。

岡山県：小・中・高校生用にビデオを作成し、指導する薬剤師を育成中である。

鳥根県：学校保健委員会で活動している。

広島県：薬物専門講師派遣制度がある。

鳥取県：県として取り組んでいるが、もう少し進めていきたい。

山口県：「薬物乱用ダメ。ゼッタイ。教室」の紹介。別紙参照

班別研究協議会 第7班「子どもの健康を守り育てる薬物乱用防止教育」

いのちを輝かせて生きる子どもの育成

～自己を見つめ、心豊かに響き合う道徳教育を基盤とした健康教育～

鳥取市美保南小学校 教諭 半田雅人 養護教諭 山田由美子

「いのち」に関する学習と健康教育で、薬物乱用防止教室や喫煙防止に関わる学習を行っている。

学校保健委員会で取り組む喫煙予防教育 ～家庭や地域とともに～

鳥根県出雲市立浜山中学校 養護教諭 角森純子

小・中学校連携した喫煙乱用防止計画を作成した。喫煙する生徒が年々減少している。

これからの薬物乱用防止教育を考える ～喫煙防止教育の実践を振り返って～

山口県立奈古高等学校 養護教諭 梅地智子

保健授業や「薬物乱用ダメ。ゼッタイ。教室」を開催している。

指導助言者

鳥取警察署生活安全課 少年係長 廣瀬里美

平成8年から警察が薬物乱用防止教室を開始している。「いのち」に関する教育を一緒にすることが重要で「他者から大切にされているので、自分を大切にすること」という言葉が印象的でした。

鳥取県教育庁保健体育課 指導主事 古川康徳

健康教育が基本である。「脳内汚染」の本が参考になると話をされた。

「ゲームをしていると脳内にドーパミンが大量に放出されて快感が引き起こされ、麻薬と同じような効果もたらされ、麻薬や覚醒剤などへの依存、ギャンブル依存と変わらない依存を生む」

薬物乱用ダメ。 ゼッタイ。教室

第52回中国地区学校保健研究協議大会
 学校薬剤師部会 鳥取県立ふれあい会館
 平成18年8月17日
 山口県学校薬剤師会 会長 西村正広

平成18年度「薬物乱用ダメ。ゼッタイ。教室」実施要領

1. 目的

山口県薬物乱用対策推進本部（本部長：綿屋副知事）が中心となり、県下の小、中、高等学校の児童、生徒を対象にシンナー、覚せい剤等の薬物乱用防止教室を実施し、薬物乱用の未然防止と若者の健全育成を図る。

2. 事業概要

薬物乱用防止指導員（学校薬剤師等）や警察職員等が児童、生徒に対して、薬物乱用が体や社会に与える本当の恐ろしさについて各種啓発用資器材等を活用した教室を実施する。

また、中、高等学校の文化祭等での薬物乱用防止コーナーの設置への協力や、PTAに対する薬物乱用防止教室を開催する。

3. 実施対象

- (1) 小学校の1/2を対象とする。
- (2) 中学校及び高等学校（中等教育学校を含む）は、すべての学校を対象とする。

なお、全生徒が、中学校及び高等学校でそれぞれ必ず1回は「薬物乱用ダメ。ゼッタイ。教室」を受けられるように計画的に実施する。

4. 実施者

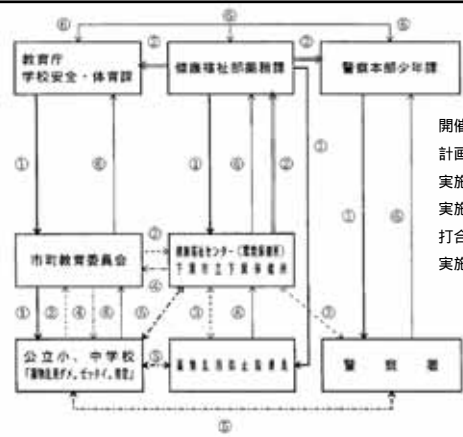
薬物乱用防止指導員（学校薬剤師等）及び警察、健康福祉センター（環境保健所）の職員が行う。

5. 実施方法等 フロー図参照

6. その他

指導員に対する旅費は、必要に応じ健康福祉センター等が支払い、学校からの経費負担はないものとする。

公立小、中学校における実施フロー図



開催の通知
 計画書の提出
 実施者の確認
 実施確認通知
 打合せ及び実施
 実施報告

平成17年度「薬物乱用ダメ。ゼッタイ。教室」実施結果

実施状況

(実施率:実施数/学校数)

学校別	項目	学校数	実施数	延べ実施数	実施率 (%)	受講生徒数	保護者数
小学校	公立	338	164	165	48.5	8,630	760
	私立	1	0	0	0	0	0
	小計	339	164	165	48.4	8,630	760
中学校	公立	174	77	79	44.3	13,823	21
	私立	7	7	7	100	600	0
	小計	181	84	86	46.4	14,423	21
高校等	公立	73	73	88	100	25,957	85
	私立	20	20	20	100	7,930	32
	小計	93	93	108	100	33,887	117
合計		613	341	359	55.6	56,940	898

実施者状況

実施者	警察職員	薬物乱用防止指導員	健康福祉センター職員	教諭等
小学校	40	101	18	28
中学校	70	18	14	3
高校等	92	22	13	4
合計	202	141	45	35

数字は延べ人員

薬物乱用防止指導員 = 学校薬剤師